令和2年度 女子バスケ 部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	都竹もみの		
副顧問	鈴木誠士		
副顧問	北林峻		
副顧問			

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	規範意識を培い自主・自律の力を育てることを方針とする本校において、自ら問題に立ち向かっていける行動力を身に付けた、芯の強い生徒の育成を目指す。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	ブロック優勝。 東京都ベスト32。
(3) 地域貢献等の特色ある目標	大田区を中心とした中学校に出向いて合同練習を行い、本校生徒はもちろん、中学生のスキルアップを目指す。

3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	練習日は原則週に5日間とし、練習時間は平日2時間、休日4時間を基本に、短時間で集中して行う。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	年に4回の公式大会、および長期休業中に行われる非公式大会にも積極的に参加する。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	可能な限り多くの練習ゲームを設定し、実践的なスキルを身に付けさせる。他校との対戦を増やすことで、生徒のモチベーション向上を目指す。
(4) 部加入率の維持、増加	未経験者であっても、誠実に部活動に取り組める生徒は入部を許可し、加入率の向上を目指す。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	学年相互のコミュニケーションがとりやすい環境をつくり、体罰・暴力的指導や行きすぎた指導のない部活動を展開していく。
(2) 生徒間の暴力禁止	運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で肉体的、精神的な強制力で問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
(3) 外部指導員の活用	とくに予定なし。
(4) 事故防止・安全配慮	用具管理および活動場である体育館の環境を常にチェックし、活動中に怪我が起こらないよう最善の注意を払う。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	
	5	
	6	仮入部 活動開始
	7	○体力向上を図る ・持久力、筋トレ、ラダー等を活用し走力、筋力アップを図る。
2 学 期	8	○基礎基本の定着 ・シュート、ディフェンス、個人スキル向上を図る。 ○練習ゲーム
	9	○選手権大会（東京都高体連主催）
	10	
	11	○新人戦大会（東京都高体連主催）
3 学 期	12	○ニューイヤークップ
	1	
	2	○体力向上を図る
	3	・持久力、筋トレ、ラダー等を活用し走力、筋力アップを図る。 ○チームオフense、チームディフェンスの強化 ・練習試合を多く組み、実践的な経験を多く積ませる。

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所		体育館	体育館	体育館	体育館	体育館 (どちらか1日)	

7 公式戦・大会等の実績（令和元年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・都大会 3回戦進出 ・新人戦 2回戦進出 ・ニューイヤークップ 準優勝 ・